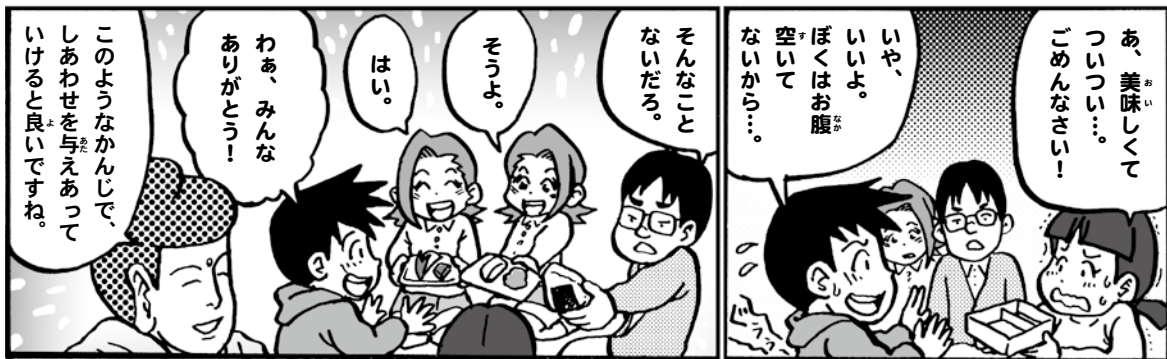
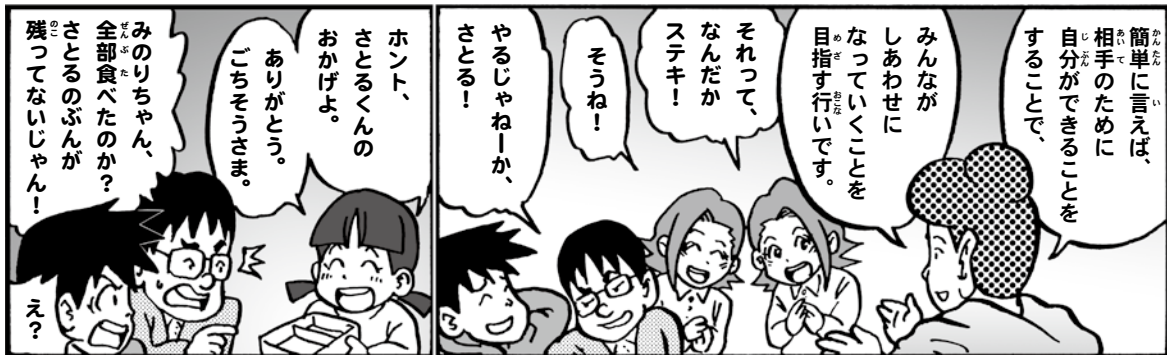
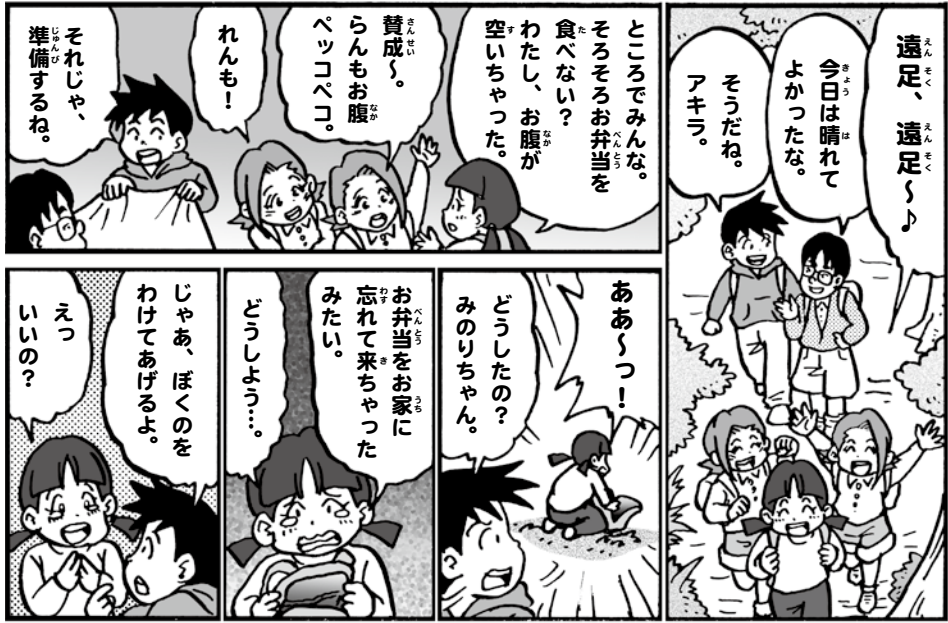


もくじ

まんがブツダのおしえ〜六波羅蜜編〜	3
48のメッセージ・おもちゃ箱	29
てらちゃんとうらほしさん	127
お家の方へ 伝言板	147
あとがき	177

※本書籍は、浄土真宗本願寺派の月刊紙『仏教こども新聞』の748号〔平成25年4月発行〕から795号〔平成29年3月発行〕までを加筆訂正し収録したものです。なお、漢字・振り仮名の表記は、コーナーによって異なっている場合があります。

その1 布施



この漫画は、さとるくんやみりちゃんたちが
 日常の出来事を通して、
 お釈迦さまから、仏さまのおしえのひとつ
 「六波羅蜜」の「布施」を聞いていく物語です。



その2 布施(財施)

さとるくん
その箱は何？

あ、みのりちゃん、
これは募金箱だよ。

お金を集めていって、
困っているひとたちのために
使ってもらうんだ。

それはまさに、
「布施」に通じる
行いですね。

ええ、
他人に施す行いである
「布施」にはさまざまな
かたちがありますが、
そのひとつが、
お金や品物などを
必要とするひとに
施し与えていく
「財施」なのです。

それじゃあ、
わたしも募金
しようかしら。

うん、
おねがい！

じゃあ、
すしだけど。

チャーリーー！
ありがとう！

これで、どのくらいの
募金が集まったの？

みのりちゃんが
入れたぶんだけだよ。

ええ、つ
わたしが
最初だったの？

うん。

てことは、
さとるくん自身は
お金を入れて
いないのね？

ぼくは、
買いたいゲームが
あるから、お金を
貯めてるところだし…。

何よそれ！
わたしだって、
おこづかいで
買いたいものが
たくさんあるわよ！
募金する気ないんなら
わたしもやっぱり
やめる！返して！

さとるくん、みのりちゃん、
施しをしようとしても、
そのように手放したくない
気持ちになってしまふことが
あるでしょう？

それは、
お金や品物を欲しいと思う
欲のこころから生じているのです。

さとるくん、このこころを超えて、
自分の持っているものを
他人のために施していくところが
布施の尊さがあるのですよ。

その3 布施(法施)

1、2、
3、4…

5、
ああつ！

まず、手だけで、
にぎりしめずに
親指をたてて
持ってください。

そして、
わきをしめて
手首でなわを
回すよう
意識してね。

わかったわ。

あ、あ、
なんでうまく
跳べないの
かしら。

みのりちゃんは、
なわの持ちかたや姿勢が
良くないんだよ。

うん。
そう持てば
回しやすく
なるよ。

あと、跳ぶときに
足は広げちゃ
ダメだよ！

つま先を閉じて、
かかとを前後に
スラすようにする。
かかとと地面に
つけないようにね。

こんなかんじかしら？

そうそう！
上手じゃん！

すばらしい。

いま、
さとるくんは
みのりちゃんに
尊い布施をしました。

え？ ぼくは何も
あげてませんよ？
お釈迦さま。

布施は、
ものを差し出すこと
だけではありません。

さとるくんが
なわとびのコツを
知っていなければ
みのりちゃんに
伝えることも
できませんよね。

いまのように、
自分の知っていることを
必要とする人に伝えていくことも
広い意味では「法施」にあたります。

「法施」といって、
真実の道理にかなった教えである
仏法を伝え、迷いや悩みを超えた
理想的なこころに導いていくという
施しもあるのですよ。

125・126・127…

ありがとう、さとるくん。
おかげでたくさん
跳べるようになったわ！

ていうか、もう
ぼくの最高記録を
抜かれてるんですけど…。

それを惜しみなく
伝えたからこそ
うまく跳べないという
みのりちゃんの悩みが
解決したのでしょ。